

学校だより
第36号

報徳

R 3 . 2 . 1

校長 松下 公博

自分のできる後方支援を

～みんなで感染の収束をめざしましょう～

緊急事態宣言から二週間が経ちましたが、熊本市の感染者はなかなか減少しません。予定していた五年生の集団宿泊教室も二月に延期しました。先の見通しが立たない中、舵をきりにくい状態が続きます。街の飲食店も八時までの営業となり、人出は減っているようです。二月七日までには減少に転じることを期待したいと思いま

す。先日、テレビ番組「情熱大陸」で感染症治療の最前線で働くお医者さん方のドキュメンタリーがあつていました。今は熊本市でも、入院できずに自宅療養せざる得ない人がたくさんいるほど、どの医療機関の病床もひっ迫した状態が続いています。他の病気の手術も直ぐにはできないそうです。そんな中お医者さん方は日々コロナ

ウイルスと向き合って治療に当たっていらっしゃいます。一人のお医者さんがおっしゃっていました。「我々（人類）は賢いんです。やられたら弱くなるほど人間は弱くはないので、希望は常にあります。」頼もしい力強い言葉でした。最前線はこの人たちにお任せして、私たちも自分のできる後方支援をしっかりとしなければと思いま

した。教室で換気をしてウイルスを一か所に留まらせないようにすることも大事な後方支援です。換気中もエアコンをつけて温かくしていただきますが、寒さの厳しい日は、室温を適温に保つことが難しいときもあります。そこで今は、保温や防寒目的の衣類（ジャンパーやひざ掛け等）について児童や保護者の判断で着用できるようにしています。お子様と相談をされて必要に応じて準備してください。また、家庭内での感染も増えています。お父さん、お母さん、子ども達、それぞれの生活によって考えられる感染源は異なります。是非、家族で話し合つて、感染防止のお家ルールをつくってみてください。

給食記念週間のお話

給食室の先生方は、毎日、皆さんの栄養や量、食べやすさや好みなどを考えていろいろな献立を用意してください

あなたのすきなものばかり入れられないのよ。許してね
体のことも考えて作っているのよ

赤・あお・黄色の彩りと、栄養たっぷりのバランスと人参、ピーマン、セロリ

あの手この手で入れます
毎朝渡すお弁当はあなたへのお手紙

みなさんは「お弁当はこの歌 あなたへのお手紙」という歌を知っていますか。子どもに、毎朝お弁当をつくるお母さんの気持ちを歌った曲です。

お母さんや給食の先生方はいつもみなさんの体のことを思いながらお料理を作っています。今日も感謝しながら食べましょう。

その歌詞の中にこんな言葉がでてきます。